

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	企画総務部
	02019-1	広報紙発行費	室名	広報秘書室
	基本施策の大綱	02:市民参画・協働と地域づくりの推進	財	会計 一般会計
	基本施策	06:情報の提供と共有	務	款 総務費
基本施策	01:行政情報の市民との共有化	科	項 総務管理費	
戦略プロジェクト		目	目 広報活動費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	市の主要施策、各種事業、お知らせ等の様々な情報を市民に提供することで、市民との情報の共有化を図り、市政の円滑な運営につなげる。
概要	「広報かめやま」を月2回(1日号・16日号)発行する。掲載記事については、市民にとって有益な情報をタイムリーに分かりやすく提供し、親しみを持って読んでいただける紙面づくりを行う。	

		27年度	28年度
①	名称	「広報かめやま」の発行回数	計画値
	補足		実績値 23 単位 回
②	名称	「広報かめやま」における特集記事(2ページ以上)の掲載回数	計画値
	補足		実績値 28 単位 回
③	名称		計画値
	補足		実績値 単位
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画		年度実績	
		【発行回数】年23回(毎月2回、1月は1回) 【発行部数】17,800部/回	

		計画額	予算額	決算額			
④ 事業の計画・実績	事業費		9,010	8,778	人件費	総人件費 ① 8,788	
	国庫支出金					一般職員人件費 ② 8,788	平均給与額 × ③
	県支出金					所要人員 ③ 1.20	
	地方債					臨時職員人件費 ④	
	その他					受益者負担額 ⑤	
	一般財源		9,010	8,778		受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額					
	前年度からの繰越額						
	総人件費		①	8,788			
	総コスト		⑥	17,566			

【事業の成果】	掲載ページ数を4ページに拡大した特集記事として、「『けんしん』に行こうよ!」、「大地震に備える」、「インターネット社会の危険から子どもたちを守る」など、テーマ性を持って掲載し、市民に有益な情報提供が行えた。また、デザインソフトによる紙面作成や写真を多く使用することで、見やすく理解しやすい紙面構成への取り組みができた。表紙の写真について、県広報コンクールで入選することができた。	総合判定
		B
		まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】 市の特色ある施策等を積極的に紹介し、それを理解してもらえるよう、表現やデザイン等に取り組まなければならない。特に、新しい施策や事業を実施する場合は、特集記事の掲載ができるよう担当所属と連絡調整が必要である。また、ホームページや行政情報番組など情報発信媒体が複数ある中で、他の媒体との連携を考えながら広報紙の特性を活かした情報発信を行わなければならない。
	【改善の方向性】 見やすく関心を持ってもらえる紙面とするためレイアウトソフトを導入し、すべての人の読みやすさを向上するためユニバーサルデザインフォントを使用する。また、よりタイムリーな記事を詳しく掲載するなど広報紙をさらに充実させる必要から、1日号の全面的なりニューアル、紙面作成の作業効率向上など、広報紙発行のあり方について見直す。
	事業目的の妥当性: 適切 有効性: 適切 最終評価確認者: 広報秘書室長 大泉 明彦